



森ボラ 通信

第219号 2020年8月20日発行
NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**
URL <https://www.shinrin-npo.info/>
札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8ラルズ生活研究センター
TEL (fax): (011) 816-7010
E-mail: hshinrin2002@nifty.com

活動報告

◆ 第3回親子森林教室活動報告

天候にもコロナにも負けず無事開催！今日は昼から長丁場だ！

7月19日（日）晴れ時々曇り、気温26℃と申し分ないコンディションの中、第3回親子森林教室が開催されました。残念ながら隊員4名が欠席となりましたが、昨年まで活躍していた「中島蘭隊員」が特別参加となり、隊員9名、保護者13名、協会員17名、総勢39の参加者となりました。

今年はコロナに振り回されてカリキュラムも遅れがちとなっていましたが、今日は14時から夜の20時までの6時間の長丁場。いつも以上に充実した内容で「倍返しだ！」

今回も手の消毒の後、ソーシャルディスタンス座席でのスタートです。従ってジジバシはまたも、ずーっと立ちっぱなし、隊長はん、そこに愛はあるんか？ ジジバシにもっと愛をよろしく！



親子協働で木を植える

朝礼、ラジオ体操でカラダをほぐして、いよいよカリキュラムのスタートです。一時限目は「木を育てる色々な作業」について学習した後、その一つである「植樹体験」です。島田鍬やスコップとトドマツやヤチダモ、キタコブシ、ハルニレ等の苗をリアカーに積み込んで3班に分かれて前回エゾサンショウウオを観察した池の隣の植栽場所へ移動です。班毎に班長が植樹のやり方を説明してから、親子でチャレンジです。みんな重い島田鍬を振り上げ厄介な笹の根っこを格闘していました。

二時限目は、継続隊員は森の木でボールペン作り、新規隊員は「ドングリそろばん作り」です。事前に私も作ってみましたが、これが中々難しい。ソロバンの枠に使う木を上手く探して、正確に穴を開ける事が結構大変。さすがに穴開けは私が手伝っていたらリクエストが多くなり、「ねえ穴開けオジサン」と言われたので返事をしないでいたら「穴開けオニイサン」になりました。ヨシ！そんなこんなでバタバタしながら全員無事に完成！そろばんを手元に記念撮影をして終了です。



こちらも親子協働でドングリそろばん作り

まとめの前に「森ボラの母」、いつも元気で優しい（けど蔓アジサイのツルを間違ったらコワイ）西野澄子さんからノリウツギの木の説明があって、実際に煮詰めて作った糊と内皮のヌメヌメ感を体験。ヌルとした感覚に歓声が上がりました。

次に暗くなる前に今日のおさらいをしました。ドングリそろばんの次は森の木で何を作りたいかと聞くと、箸だのロボットだの次々と出てきます。慌てて隊長が途中で遮るハメに。ずいぶん活発な意見が多く聞かれるようになったねえ！

ここで夕食タイム。子供たちは早々と食事を切り上げ、スイカのご馳走をほおぼりながら、クワの実を採ったり、エゾゼミの羽化の様子をみたり、楽しそうに走り回っていました。

夕食後は「スライド鑑賞」です。酒井長老から「澄川の森の生き物たち」のスライドを見ながらお話を聞きました。さすが長老のお話はテンポといい喋り方といい、人生の重みを感じますなあ！

夜の森鑑賞の前に、特別参加の中島蘭ちゃんのお母さんからコウモリ（超音波）探知機の使い方のレクチャーを受けたあと、「虫とキノコの事だったら誰にも負けないわよ！」的に詳しい、佐野さんからホタルの生態についてお話いただきました。

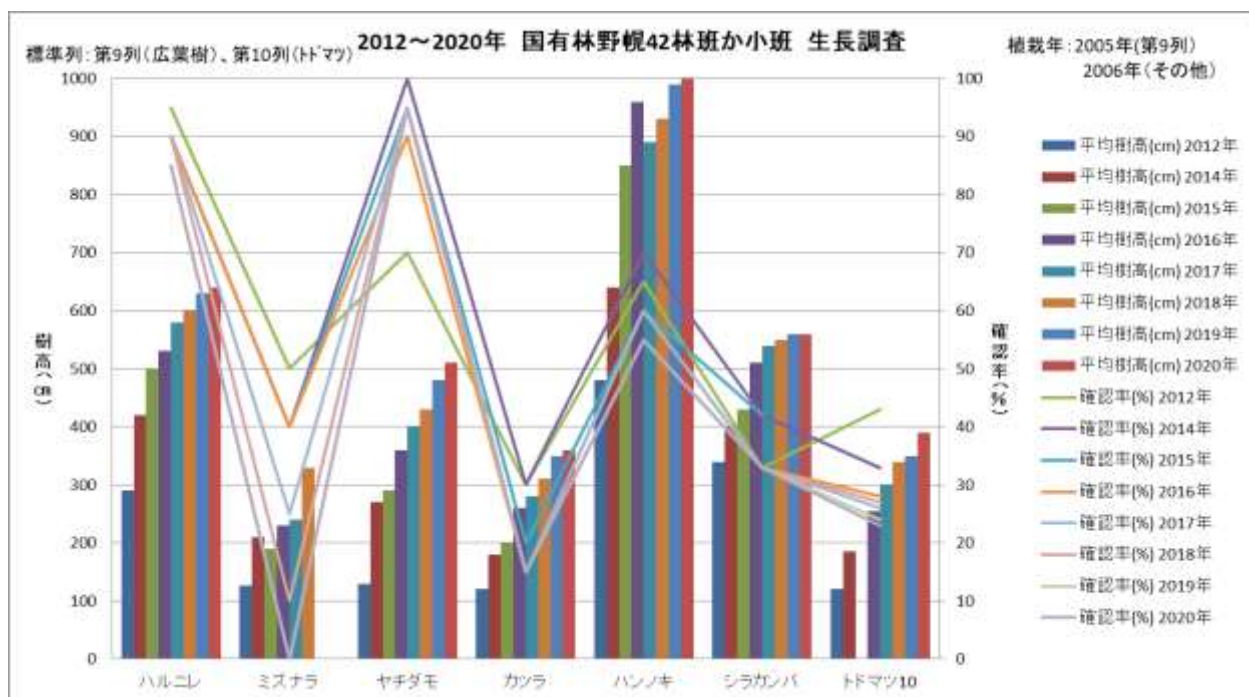
さあ、いよいよラスト「夜の森観察とホタル観賞」です。夜間の森歩きで密接と危険を避けるため、2m間隔のロープを持って班ごとに移動です。超音波探知機2台を交代で使いながらゆっくりと歩いていると、あちこちの木でエゾゼミの羽化を見る事ができました。ライトに照らされた羽化途中のセミはとても神秘的でキレイ！通称キャリコ橋のホタル観賞地点に到着しましたが、まだ薄暗いせいか中々ホタルが見つかりません。「あっ！いた」という声が！しばらく粘ってほぼ全員がホタルを確認できたところでタイムオーバー。公式記録は10匹という事になったようです。コウモリも「間違いなく超音波を捉えた」と確信をもった隊員が数名いました。帰りは真っ暗になった道を肝試しの様な感覚で慎重に歩いて、小屋の明かりが見えたらプチ遭難者の様に安堵の歓声が聞こえました。

今日一日を振り返ると、隊員たちがだいぶ慣れて打ち解けてきた様でよかったなあと思った事とお父さんお母さんも満足気な顔してた事ですね！（ヒイキ目？）でもみんなが無邪気に森を楽しんでくれれば我々ジジババも本望じゃ！ 今度は8月23日だぞ！それまで元気でな！

◆ 2つの生長調査報告

<野幌国有林>

7月30日に野幌国有林42林班か小班にて2005、2006年に植栽した広葉樹6種、針葉樹1種の2012年から実施している標準列の生長調査を行いました。植栽本数は広葉樹各20本、針葉樹トドマツは120本です。まとめのグラフを下記に示します。樹高が10mに達し計測が難しくなってきたので、2017年から胸高周長と樹高を計測して、関係図を作り樹高に換算しています。生存の確認は広葉樹ではハルニレ、ヤチダモ、ハンノキの成績は良いのですがミズナラ、カツラ、針葉樹のトドマツも減少傾向が見られます。これは動物による食害や地盤の地下水位が高いのが原因と思われます。今後の近郊における植栽の際に参考としたいと考えています。（文・樫棒）



<有明第二環境林>

7月25日に有明第二環境林において2016年から行っている植生調査を実施しました。調査を行っている6m×12mの標準地内の自然発生の稚樹本数をカウントし、表とグラフにまとめました。当初は16樹種、432本を確認しましたが、今年は10樹種151本でした。しかしながら1ha当り稚樹本数は依然として20,000本を超えています。ここはシカ、ウサギ、ネズミなどの食害が見られたので、2018年7月に食害防止網を設置しました。そのためか今年は稚樹本数の増加が見られました。これからも植生の推移を慎重に見守りたいと思います。(文・樫棒)

番号	樹種	計				
		6.0m×12.0m=72.0㎡				
		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
1	ハルニレ(オヒヨウを含む)	224	167	115	61	83
2	オヒヨウニレ	10				
3	カバ(ウダイを含む)	101	22	16	6	5
4	ミズナラ	37	13	11	6	12
5	キハダ	1				
6	クワ	3	2	3	6	12
7	クリ	1	1		1	1
8	ホオノキ	12	6	8	9	9
9	ヤチダモ	8	2	2	2	2
10	トドマツ	25	38	30	17	23
11	カエデ	2		1		
12	コブシ	1				
13	クルミ	3	2	3	2	3
14	トチノキ	2				
15	カラマツ	1	4	1	1	1
16	ヤナギ	1				
17	サクラ			2		
樹種数		16	10	11	10	10
合計本数		432	257	192	111	151
ha当たり本数		60,000	35,694	26,667	15,417	20,972

■ 澄川の自然 11

クズ(葛)・マメ科

葛の花は秋の七草の一つで、よく見ると花の美しさ、色の趣は日本的です。

根は風邪を引いた時にお世話になる葛根湯の原料に、また、根のデンプンは葛餅の原料になります。

茎は樹木に絡み付き、長さ10m位にもなる多年草。私達はこの葛を邪魔にして直ぐ切ってしまいます。(和田さんが思い出されますね)。文/西野(澄)・写真/三橋



■ お知らせ ~2020年研修旅行

今年の研修旅行は新型コロナウイルスの影響を考慮して日帰りツアーにします。研修先は野幌道有林の再生事業を指導して頂いている近自然森づくり協会理事長・岡村先生の平取町の実践現場(イオルの森)の視察です。スケジュール等は下記の通り。皆様の参加をお待ちしています。

【集合日時】2020年9月23日 7:50 札幌駅 北口 鐘の広場

【スケジュール】 8:00 札幌駅 北口発 札幌北ICから高速輪厚・美沢PAにて休憩
 10:00 平取町アイヌ文化情報センター 森の見学(2か所) 1時間50分
 12:00 昼食・自由時間(昼食は各自持参)
 13:00 森の見学(1か所) 1時間(移動時間含む)
 14:00 平取町アイヌ文化情報センター、平取町立アイヌ文化博物館
 15:00 平取発 美沢PA、輪厚SAにて10分休憩
 17:00 札幌駅北口着 解散

【見学場所等について】

- ・イオルの森 ~ 生活のために利用する事の出来る森を作る。町有林の牧場や国有林の皆伐地を森に戻す事業を行っている。全部で5か所あり岡村先生は、ここ3~4年携わって防草シートを使った森づくりを行っている。
- ・国有林に入るにはヘルメットが必要、靴は山で使う通常のもので良い。
- ・バスはフルオートエアコンにて、車内空気は循環・換気されている。高速走行中の窓はあまり大きく開けられないが小さく開けることが出来る。雨天時の場合は前と後ろの席の窓を雨が入らない程度に開けて換気を促進する。休憩中もエアコンによる換気を行う。

【会費】2,000円 ★参加者応募は23名迄とします(バス車内の密を避けるため)

【参加締切】8月下旬、申込は9月の活動参加申込書でお願いします。(研修旅行幹事:釣井・矢野)

新入会員の紹介～よろしくお願ひします！

中島聖子さん (札幌市南区藤野) 親子森林教室の蘭ちゃんファミリー

資格：北海道アウトドア講習修了、札幌プレーリーダー研修修了

趣味：スノーボード、スキー (1級)

■ 今月の幹事会

出席者(8月5日):市山・大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・佐野・釣井、三橋・矢野

- 2020年9,10月スケジュール(9月幹事会9月8日(火)):宿泊を伴う活動は当面自粛。
- 2020年7月会計報告:了承
- 親子森林教室:7/19報告、8/23予定確認。
- 森林・山林多面関係報告:了承。10/6多面事務局主催のチェーンソー安全研修会を澄川で予定。
- 研修旅行:9/24平取町「イオルの森」予定確認。詳細は本文参照。
- 現場報告 ・ 7/15 西野第二環境林活動実施:今後も整理伐を1回/年継続。
 - ・7/13 澄川にて月寒公園、旭山記念公園担当者が来林し薪の状況確認:各1~2式搬出予定。
 - ・7/21 藻岩山幌南の森遊歩道整備:草刈りを実施。刈払い機の前後に安全確認員配置必要。
 - ・7/28 澄川 近自然森づくり岡村先生視察:広葉樹二次林から巨木の森への変換期。
 - ・7/30 有明・野幌国有林生長調査報告:本文参照。
- 現場対応
 - ・8/12 活動地変更 有明から野幌道有林。防草シート布設予定。
 - ・8/18 西岡公園水生生物同定学習会 3名程度参加予定。
- その他 ・新入会員状況:1名入会。現在の会員数69名。
 - ・高額物品購入:土佐カマ5丁、防草シート購入。
 - ・ホダギが太多すぎ作業が大変:次年度には直径の確認必要。端材が出ないようにしましょう。

■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
7月19日(日)	澄川	17	第3回親子森林教室
7月20日(月)	野幌道有林	2	下草狩り・地拵え作業確認(森林室3名)
7月21日(火)	藻岩幌南の森	14	散策路・植栽地草刈り
7月23日(木)	澄川	—	コロナウィルス対策として活動中止
7月25日(土)	有明	13	植生調査、作業道草刈り、食害防止網補修
7月28日(火)	澄川	18	楢木本伏せ、薪・杭材小運搬、岡村先生来林
7月30日(木)	野幌道有林/国有林	17	道有林稚樹マキング、国有林生長調査
8月1日(土)	澄川	13	楢木本伏せ、作業道草刈り、苗畑整備
8月4日(火)	有明	13	作業道草刈り、踏板・階段設置、食害防止網支柱交換
8月5日(水)	ラルズ生活研究C	10	幹事会
8月10日(月)	澄川	12	作業道点検、野幌防草シート・親子森林教室準備
8月12日(水)	野幌道有林	14	防草シート布設